

週間聖書勉強の学び

〈すべてを神の栄光のために〉

斐貞愛副牧師

「すべてのことが許されている。」しかし、すべてのことが益になるわけではない。「すべてのことが許されている。」しかし、すべてのことがわたしたちを造り上げるわけではない。だれでも、自分の利益ではなく他人の利益を追い求めなさい。(コリントー 10:23-24)

「強いもの」の強さが、教会の中でいつもプラスに働くとは限らない。時には不和、争い、分裂へ作用することがある。コリント教会で起きた問題の中の一つが、知恵の言葉の解釈を誇り、その結果、自由と知識を誇示して礼典と職制の秩序を乱すことであった。コリント教会の人々が重視した知恵や知識に対立して、パウロは十字架の言葉を提示し、それをもって救いはキリストの十字架に現れた神の知恵によってのみ成就されたことを言明した。加えてパウロは、霊の人としての完全を誇るのではなく、キリストの苦難と十字架においてあらわされた神の愛の力に捕えられて、愛の共同体を形成すべきであると勧めている。

パウロは、言う。キリスト者の働きはすべて〈神の栄光を表すため〉に、自分(の利益)に向かってなされるのではなく、他者に向かってなされるべき。自分の権利行使ではなく、食べるにしても飲むにしても、相互の交わりにおいても、すべては神の栄光のために、人々が救われるために。

キリスト者の働きは、「すべてのことが許されている。」という前提のもと、①許されているすべては自分の益ではなく、相手の益を追い求めて。②許されているすべては人を造り上げるために。教会の徳を立てるために。③許されているすべては、相手の良心に置きと傷を与えない。④許されているすべては、すべての人に喜びを与えるために、なされるべきである。

これらのことを心に刻み、悔い改めと赦し、愛の共同体を目指して行きましょう!



★京都教会女性会のみなさん お元気ですか。私たちは今まで 毎週 当たり前のように教会に集まり 一緒に賛美し 礼拝をしていましたね。ところが突然 コロナウィルス感染拡大によって世界中が一変し、今までの生活が出来なくなりました。おそらく 誰も予想しなかったことでしょ。

制約の多い中ですが、私は ステイホームによって 恵まれたひとときを過ごしています。時間の余裕があり、祈りと聖書勉強の機会が出来た と思います。讚美歌も歌いたいのですが 満足に歌えないのです。とてもショックでしたが 知っている讚美歌は付箋をし、少しずつ覚えて歌っています。日中は暑いので 早朝5時過ぎになると ウォーキングに出かけます。体調によって歩く範囲を決め、何か興味を引くものを探します。戻ってくると 昔から好きな庭の手入れを始めます。どんなに忙しくとも 草木に語りかけ水をやり、栄養を与え 人の目の気づかない作業を続けると、見事に応えてくれ 綺麗な花を咲かせます。通りがかりの人が 綺麗ね と褒めてくれる時は 花も私もうれしいです。草木は手入れがないと 育ちません。私たちの信仰も 手入れ、すなわち祈り、聖書を読み、賛美をすることで育つのではないかと 思ったりしています。

家庭礼拝から教会での礼拝が始まる日まで 静かに信仰生活を守りたい と思っています。日々 姉妹たちの笑顔を思い浮かべて祈っています。(文野清子)



「教育部だより」第2号、みなさんいかがでしたか? 6月7月、教会で礼拝ができて喜んだのもつかの間、また8月第2週からは 各家庭での礼拝ということになってしまいました。女性会の聖書勉強会の代わりに始めた このたより、こんなときこそ 愛読ください。♡♡このたよりは、皆さんの原稿で できています。週間聖書勉強で思ったこと、コロナに思うこと、祈ってほしいこと、その他なんでも(〃)。女性会会員以外の方からの投稿も歓迎します!

★暑い日々が続きますが、皆さん ご体調はいかがでしょう。

2月から始まった”コロナウィルス”がまさかこのように 暑い夏まで続くとは 全然思いもしませんでした。初めて京都教会の本礼拝が家庭礼拝に変わり 8週間ほど礼拝を教会で捧げられなかった時、教会の存在について、教会の交わりや教会の中での信仰生活について 深く考えられる貴重な時間となりました。

礼拝が再開されてからまだ2ヶ月しか経っていないのに コロナウィルスの感染者数が爆発的に増加し また教会へ行けなくなってしまい とても心が寂しくてたまりません。

一週間一回 京都教会の皆さまと共に礼拝を捧げながら CSの子供達、青年達、執事任、権士任、長老任、牧師任の顔を見るだけで どれほど私に大きな喜びだったのか 本当に実感しているこの頃です。

しかし このコロナウィルスで 私は失ったものより 得たものが もっと多いです。きっと神様は 私たちに このように平凡であったことが 本当に感謝すべきであることだ と教えていると思われま。

「恐れてはならない。落ち付いて、今日、あなたがたのために行われる主の救いを見なさい」

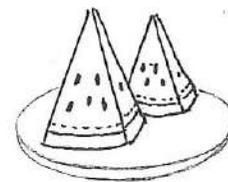
出エジプト記 14:13

何よりも 教会の皆さまのご健康を 祈り続けます。(崔英善)

★簡単なクイズを作りました。少しでもみなさんの気分転換になればうれしいです。(朱智子)

【みことばクイズ】 ※◎に入る文字を ひらがなで1、から18、まで順に並べてください。

- 1、スイカは◎つの果物
- 2、バーベキューで◎◎◎くを沢山食べた
- 3、い◎◎を使ってタルトケーキを作る
- 4、◎み◎ま◎いつも一緒
- 5、◎◎なさい、そうすれば与えられる
- 6、信仰・希望・◎◎
- 7、絶えず◎の◎なさい
- 8、ハレルヤ!主◎讚美せよ
- 9、◎ーセとアロン
- 10、朝は太陽、夜は◎◎
- 11、みんなと◎をつなごう
- 12、◎◎あさんが作るご飯が一番!
- 13、◎◎かい先に立たす
- 14、◎◎◎◎と共に泣きなさい
- 15、◎ぬと猫を飼っています
- 16、◎しはみずみずしい
- 17、◎◎いを育てて食卓に
- 18、たの◎◎心は良い薬



★◀ 祈りと愛情の 貯金をする ▶

蝉の鳴き声も 今年コロナが怖かったのか、いつもより遅くに 賑やかな合唱が始まったような気がします。

全ての価値観が 否定されるかのような、感染症に振り回されている日常を 感じますが、8月の声を聴くと、「少しの日常」として、例年の休みや親戚の集まり、それに伴う「お墓参り」などがあります。信仰者、信仰の家庭の「お墓参り」を どの言葉で表すのが 正しいのかはわかりませんが……クリスチャンであっても 当然、祖先やお墓は大事にしていると思います。

鮮やかな アボジが好きだった 白のゆりの花を飾り、墓前で祈ると、今でも アボジの声が 聞こえてくるような気がします。

私達姉弟のために いつも祈ってくれていた、アボジの声は 高音で よく響き渡る声でした。沢山、たくさん 祈ってくれました。いつでも、何かある度に 祈ってくれました。子どもの時は 本当に嫌だった……恥ずかしかった……でも その沢山の祈りのおかげで、祈りの貯金を 私は 使いながら、使い続けながら 生きているような気がします。

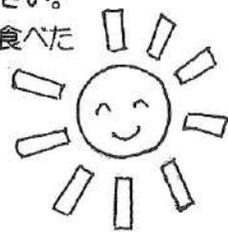
残高はまだ、まだあると思いますが……

私もいつまでも、「残高貯金」だけで信仰生活を送るのではなく、自分の預金も 増やさないといけないなあ……と。

私は誰かのために 貯まるほど、溢れるほど、祈ることはできているのかな?

朝、夕の祈りさえ 時々さぼってしまう私ですが、少しずつ誰かのために いつか誰かが使えるように 貯金をしていきたいと、思う8月17日です。(柳恋愛)

★ 正解は次号で発表します。お楽しみに! (^^)



♡♡原稿は、教育部・康玲子まで。メール(crystalsound106@gmail.com)、TEL/FAX(075-332-9069)/教会あて郵送など。文字数は自由ですが、200~300字を目安に。どうぞよろしく願いいたします。(教育部・康玲子 カン ヨンジャ)